

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名 鶴見区  
学校名 茨田東小学校  
学校長名 岩本 浩志

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・茨田東学校では、第6学年 36名

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

本校と全国、大阪市の平均正答率を比較すると、国語科は全国平均よりも1.6ポイント下回り、大阪市平均とは±0ポイントであった。算数科は全国平均・大阪市平均よりも11ポイント下回っていた。理科は、全国平均よりも2.1ポイント上回り、大阪市平均よりも2ポイント上回る結果であった。国語科は、年々全国平均との差が縮まっている。今回は算数科に課題がみられる結果であった。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

### [国語]

どの領域もほぼ全国平均であるといえるが、「我が国の言語文化に関する事項」の区分は全国平均を少し下回った。大きく下回った項目がなく昨年よりも向上していることが、今年度の成果と考える。課題としては「話すこと・聞くこと」「読むこと」の区分で下回っていることである。

### [算数]

どの領域も全国平均を下回っている。特に「変化と関係」の領域が課題である。すべての領域において全国平均を下回っているので、全体的な底上げが今後の課題といえる。

### [理科]

全体としては、全国平均を上回っているものの、「エネルギー」「粒子」にかかわる領域は課題がみられる。

児童の学力向上のために、大阪市の「学力向上支援チーム事業」や「若手育成支援事業」を今後も継続して活用し、今後も教職員の授業力向上に努めていく。

質問調査より

国語・算数・理科ともに、「授業の内容はよくわかりますか」に対しての回答では、肯定的な回答がどの教科も多く、日々の授業を充実した思いで受けていることがわかる。

「自分にはよいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」の最も肯定的な回答の割合は全国平均を少し下回っている。自分の目標をしっかりともって、自信をつけていくことをサポートし、自己肯定感や自己効力感をより高められるようにしていきたい。ただ、「学校に行くのは楽しいと思いますか」については、肯定的な回答が多いことはうれしい結果といえる。今後も維持・向上できるよう取り組みたい。

## 今後の取組(アクションプラン)

「国語科」を研究の柱とし、各教科等において学習の気づきを促し、考える力の育成をすすめている。今後も次の3点を中心として取り組み、学力向上をめざす。

- ・基礎基本の力を身につける学習（読む・書く・新出漢字・計算の習熟）を徹底する。
- ・根拠を明確にして「話す」「書く」「読み取る」ことを教育活動全般で実践する。
- ・短期記憶と長期記憶の特性を指導者が理解し、継続的なアウトプット（言葉に出して言う、説明する、考えを書く、復習問題を解く等）の機会を設ける。

今年度は、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、読み取る力を育成していく。

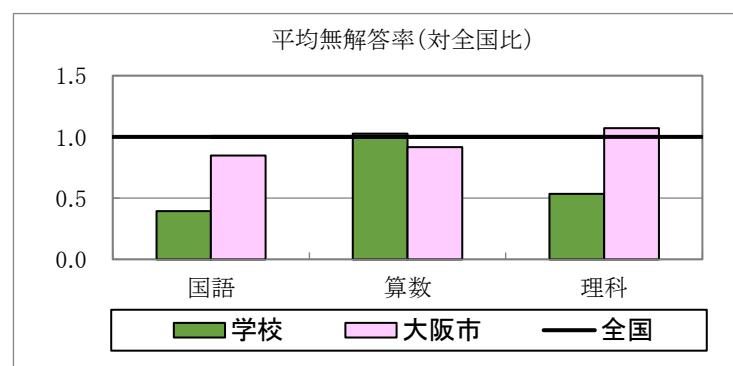
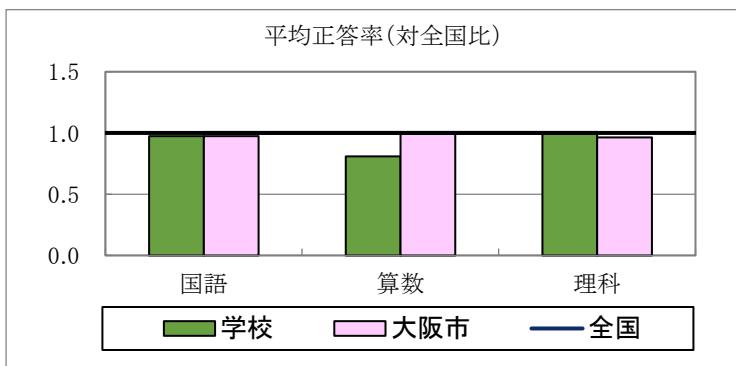
## 【 全体の概要 】

**平均正答率 (%)**

	国語	算数	理科
学校	<b>65</b>	<b>47</b>	<b>57</b>
大阪市	<b>65</b>	<b>58</b>	<b>55</b>
全国	<b>66.8</b>	<b>58.0</b>	<b>57.1</b>

**平均無解答率 (%)**

	国語	算数	理科
学校	<b>1.3</b>	<b>3.7</b>	<b>1.5</b>
大阪市	<b>2.8</b>	<b>3.3</b>	<b>3.0</b>
全国	<b>3.3</b>	<b>3.6</b>	<b>2.8</b>

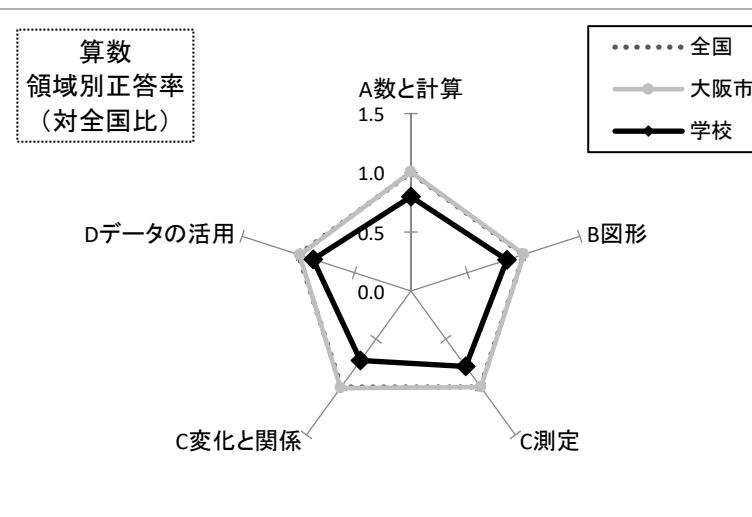
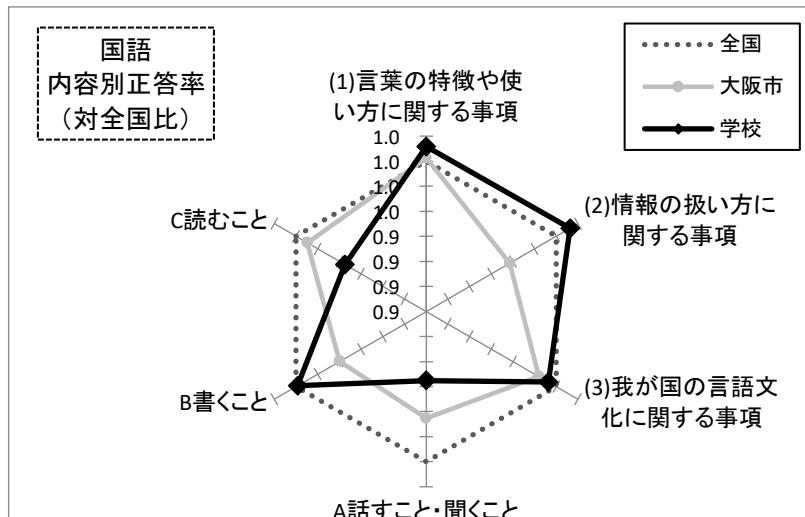
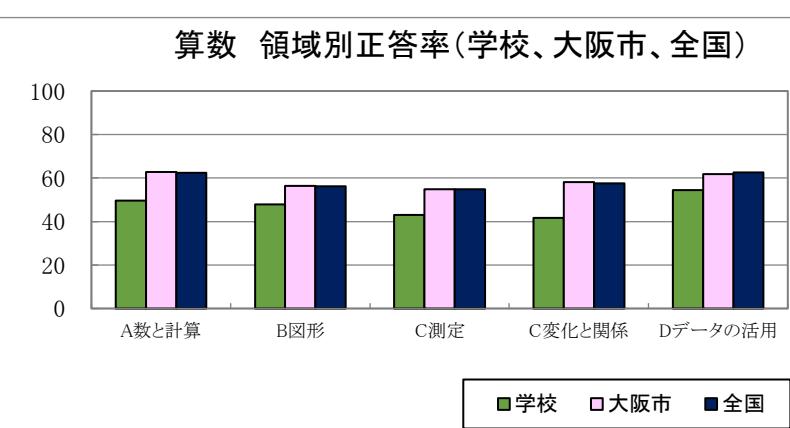
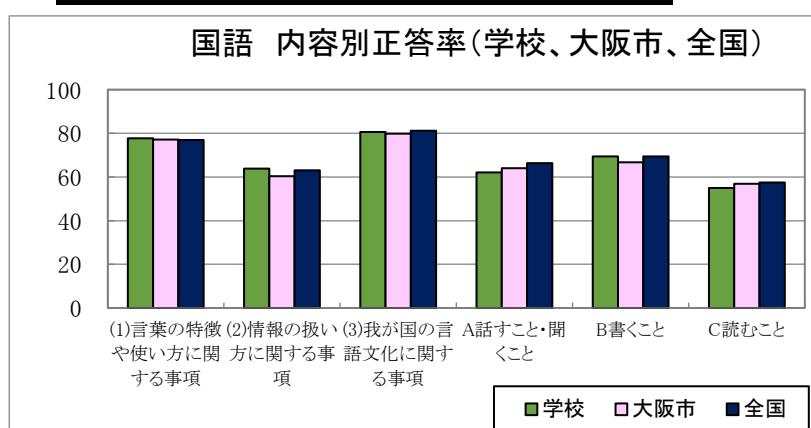


## 【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	<b>77.8</b>	77.1	76.9
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	<b>63.9</b>	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	<b>80.6</b>	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	<b>62.0</b>	64.0	66.3
B 書くこと	3	<b>69.4</b>	66.7	69.5
C 読むこと	4	<b>54.9</b>	56.9	57.5

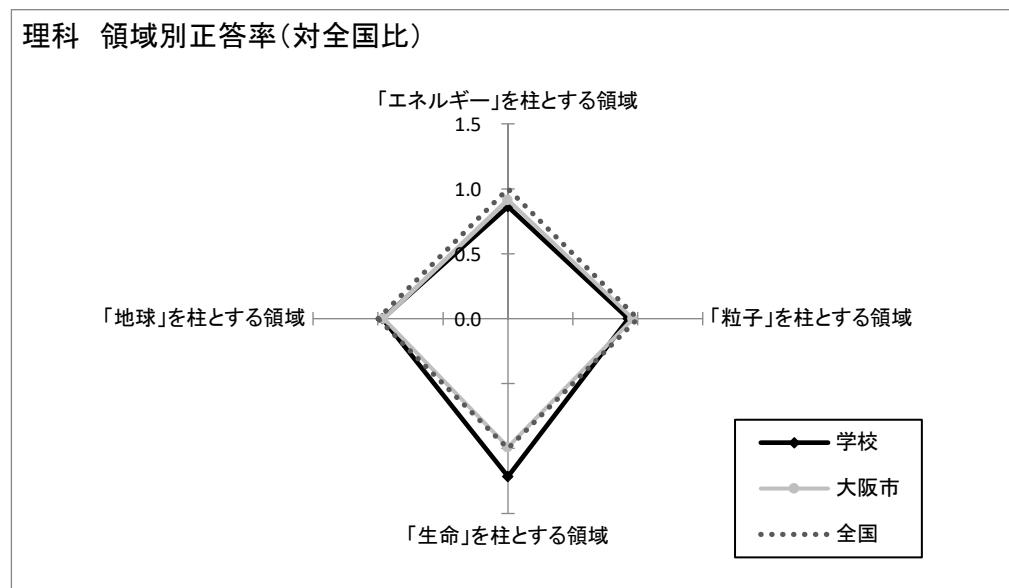
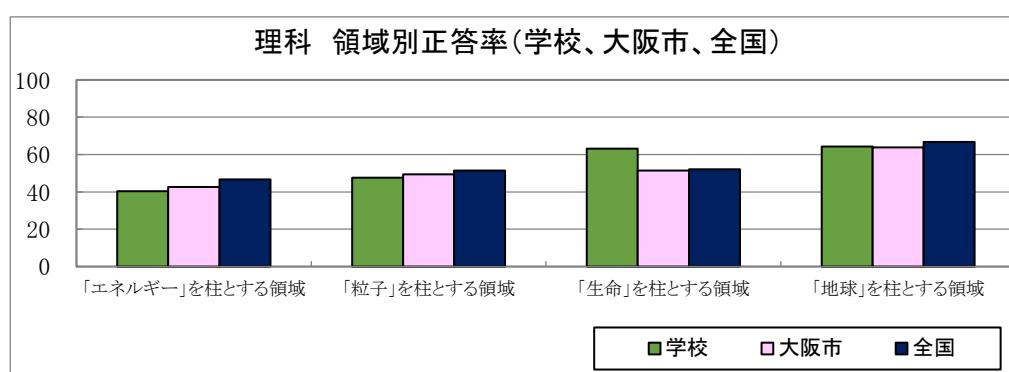
## 【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	<b>49.7</b>	62.7	62.3
B 図形	4	<b>47.9</b>	56.4	56.2
C 測定	2	<b>43.1</b>	54.9	54.8
C 変化と関係	3	<b>41.7</b>	58.2	57.5
D データの活用	5	<b>54.4</b>	61.9	62.6



## 【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分 「エネルギー」を 柱とする領域	4	40.3	42.7	46.7
	6	47.7	49.5	51.4
B 区 分 「粒子」を 柱とする領域	4	63.2	51.4	52.0
	6	64.4	63.8	66.7



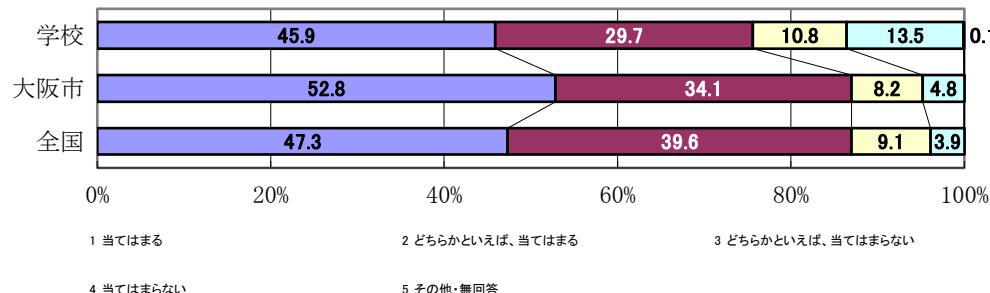
## 児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

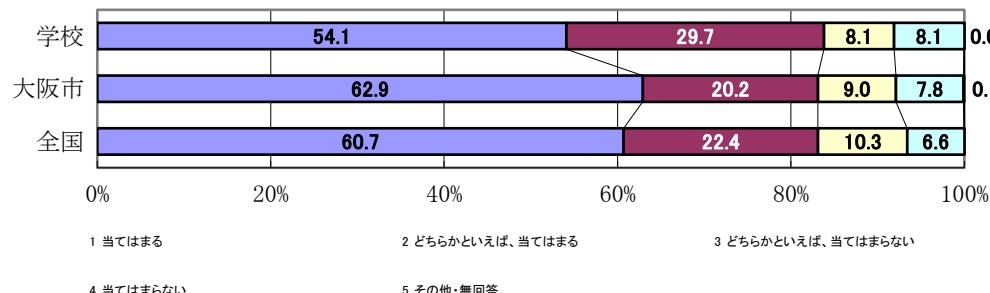
5

自分には、よいところがあると思いますか



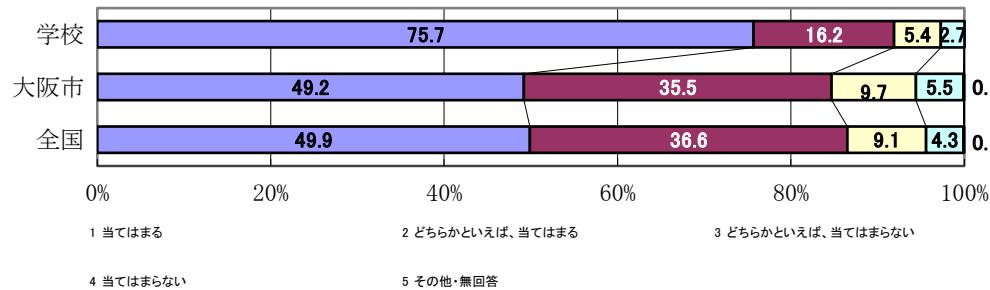
7

将来の夢や目標を持っていますか



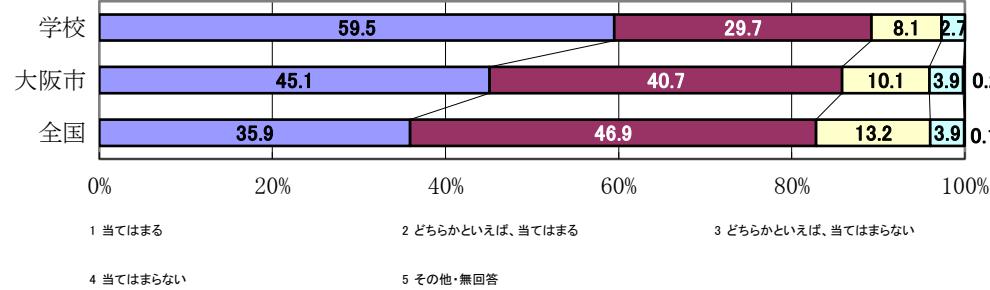
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



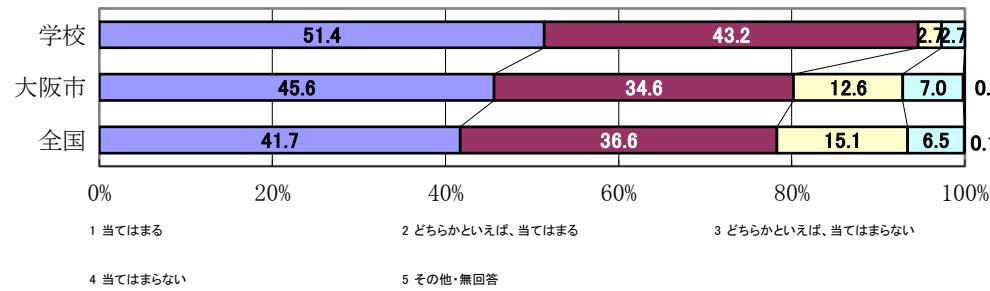
46

国語の授業の内容はよく分かれますか



54

算数の授業の内容はよく分かれますか



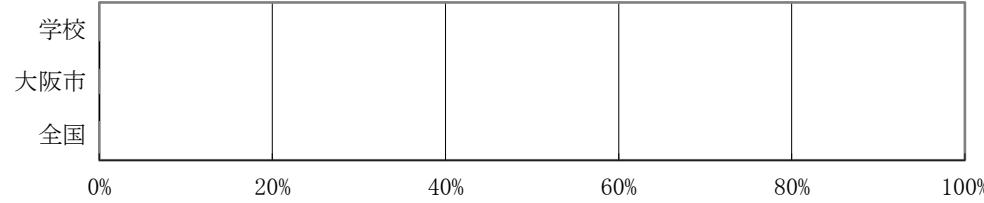
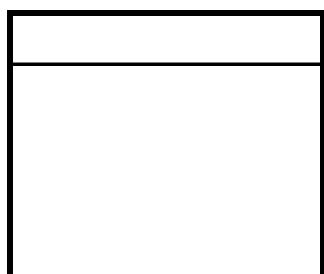
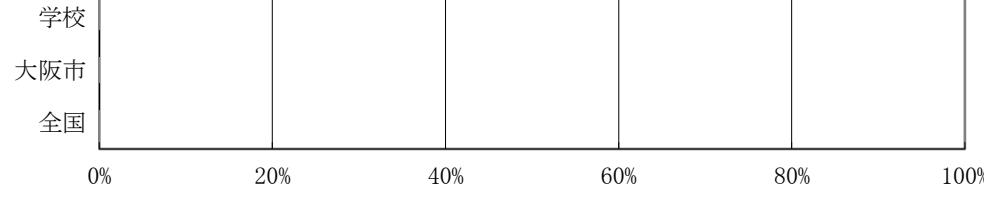
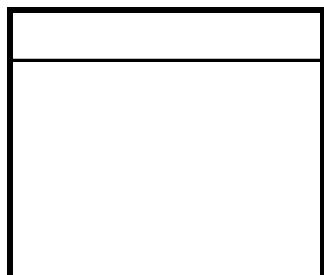
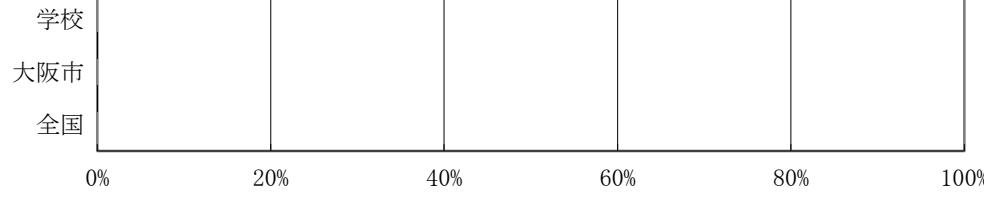
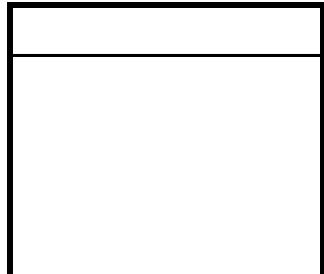
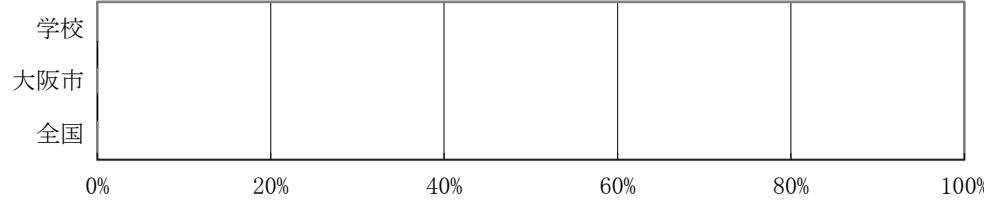
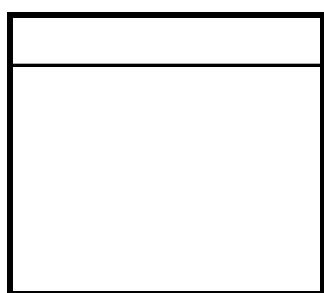
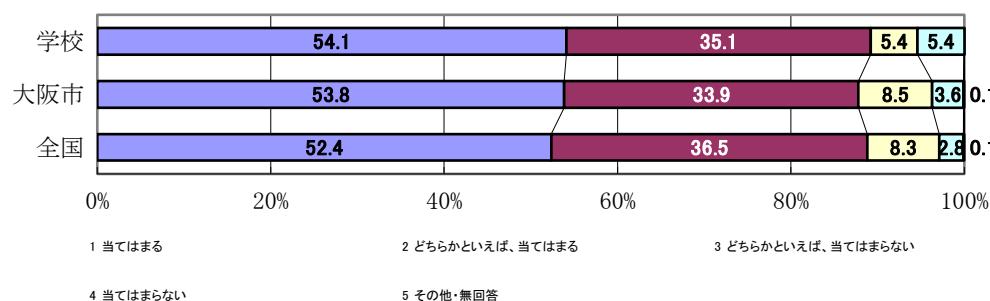
## 児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

62

理科の授業の内容はよく分か  
りますか



## 学校質問より

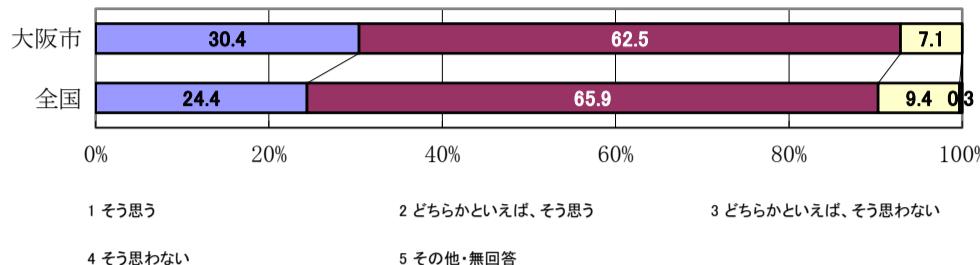
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

7

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

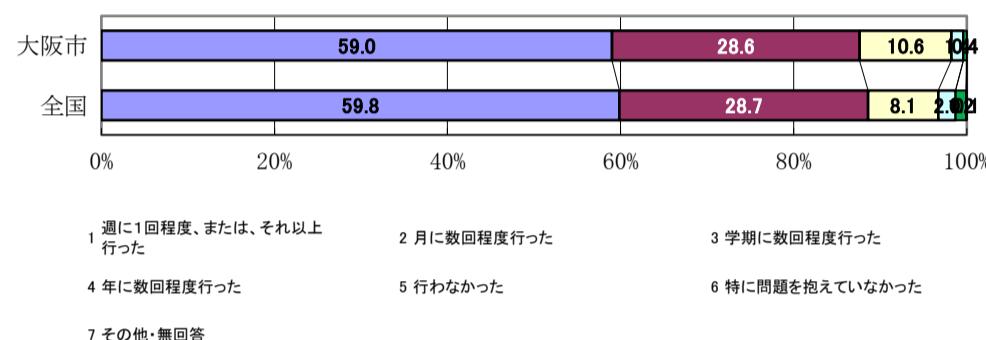
### 学校 「そう思う」を選択



12

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

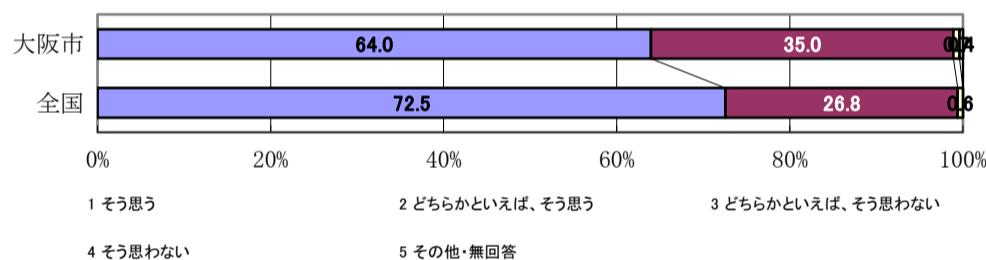
### 学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



23

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか

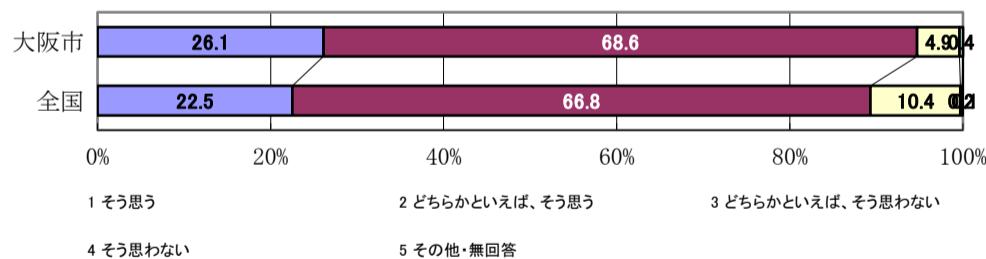
### 学校 「そう思う」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

### 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



37

調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

### 学校 「よくしている」を選択

